

教科(科目)	芸術（書道Ⅰ）	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	光村図書出版『書Ⅰ』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育みます。 ①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。 ②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。 ③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。 ④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。 ①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。 ②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。 ③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。 ④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。

2 学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--

3 指導の重点

・書における幅広い表現の基礎を学び、創作活動に必要な技能を高める。 ・様々な書の表現活動を通して、書の美しさを感じ取る感性を高め、表現する楽しさや喜びを味わう。 ・表現及び鑑賞における幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができる。	・書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組む態度を身に付けようとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・臨書や鑑賞への取り組みの観察 ・提出作品の技能や表現の分析 ・提出物、ワークシート内容の確認などから評価します。	・臨書や発表への取り組みの観察 ・提出作品の技能や表現の分析 ・提出物、ワークシート内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから評価します。	・出席状況 ・学習活動への参加の仕方や態度 ・作品ファイル整理状況 ・振り返りシートの提出状況などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	・オリエンテーション	・書写から書道へ	・「書写」と「書道」関連及び違いについて理解する。 ・年間計画や用具用材・授業の取り組みについて理解する。	2	・作品内容 (作品の分析) ・ワークシート
4 5 6 7	・楷書の学習	・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 ・鄭義下碑	・書体の変遷や楷書の古典にふれ、書の歴史と表現の広さを理解する。 ・楷書の古典の鑑賞と臨書を通して、用筆・運筆・字形の取り方を学び、楷書の基本的な用筆法を習得する。	15	(記述の点検) ・授業の取り組み ・出席状況 (行動の確認) ・振り返りシート ・作品ファイル
8	・行書の学習	・蘭亭序	・行書の古典の鑑賞と臨書を通して、用筆・運筆・字形の取り方を学び、行書の基本的な用筆法を習得する。	6	
9	・競書大会作品制作	・漢字	・書体の特徴を理解し、出品作品を制作する。	6	・作品内容 (作品の分析)
10	・行書の学習 ・篆刻の学習	・風信帖 ・姓名印	・蘭亭序の活動内容と同様 ・篆刻の用具用材・技法について理解する。	7 1	・ワークシート
11	・仮名の学習	・蓬莱切	・仮名の成立や種類、単体や連綿について理解する。 ・古筆の鑑賞と臨書を通して、仮名の基本的な用筆法を習得する。	9	(記述の点検) ・授業の取り組み ・出席状況
12	・実用書	・年賀状の作成	・これまでの表現技法を生かし、毛筆による年賀状を作成する。	6	(行動の確認) ・振り返りシート ・作品ファイル
1	・仮名の学習	・高野切第三種 ・寸松庵色紙	・仮名の運筆のリズムをつかみ、短冊や散らし書きによる表現技法を習得する。	8	・作品内容 (作品の分析)
2 3	・漢字仮名交じりの書の学習	・作品制作	・身近な言葉や詩文を題材に、漢字と仮名の調和を図り、用具用材や字形、構成を工夫して作品を制作する。 ・自分や他の生徒の作品を鑑賞する。	10	・ワークシート (記述の点検) ・授業の取り組み ・出席状況 (行動の確認) ・振り返りシート ・作品ファイル

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

毎時間、作品もしくはワークシートの提出があります。提出物の内容については指示に従い丁寧に取り組みましょう。

8 担当者からの一言

書道Ⅰでは、日本と中国の各時代の書にふれ、多様な技法や表現を学習します。人によって「いいな」と感じる感性は異なるので、様々な角度から作品のよさを味わい、自分の表現を見つけていきましょう。また、筆や硯などの用具・用材の取り扱いや後片付けも丁寧に、落ち着いた姿勢で授業に取り組むことが大切です。